

第177回 冷戦のはじまり①

1 戦後のフランスとイタリア

<フランス>

- ・1946年に制定された第四共和国憲法に基づき、() が成立した。
→植民地の独立運動や小党の分立により、不安定な政治が続いた。
→混乱のなかで、フランス共産党が力を伸ばしていた。

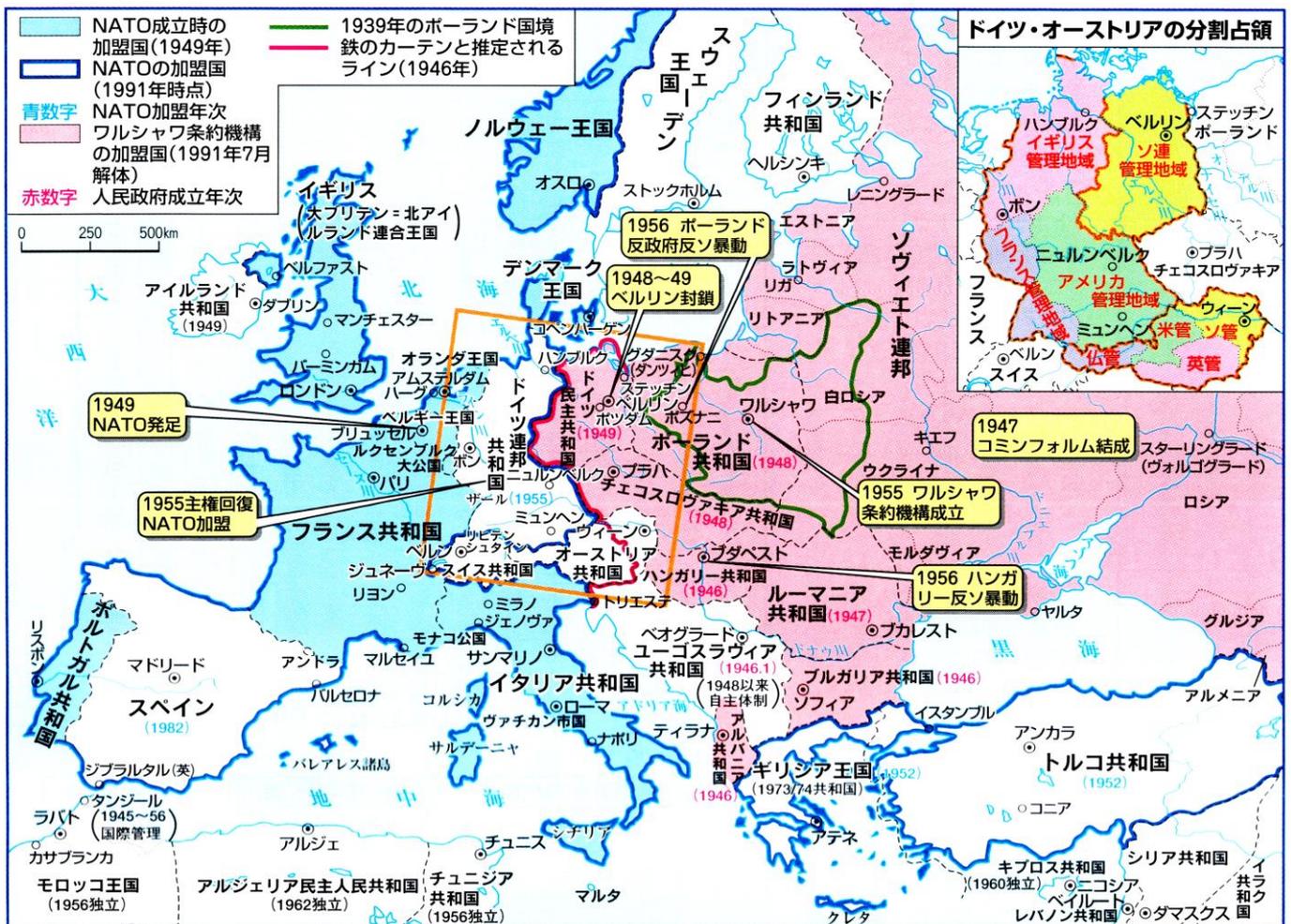
<イタリア>

- ・イタリアは、キリスト教民主党が政権をにぎり、1946年に() となって共和国となった。
→イタリア共産党も力を伸ばし、西ヨーロッパ最大の共産党となった。

2 ソ連圏の形成

・ソ連は、第二次世界大戦中にナチス=ドイツの支配から解放した東欧地域に共産党中心の政権をつくり、自らの影響下に組み入れた。

- ・戦後、()、()、()、()、アルバニアなど東欧諸国は、人民民主主義に基づく社会主義国となった。
- ・またソ連の力を借りずにドイツを撃退した() は、パルチザンを率いた() のもとで、独自の社会主義国家を建設した。



3 冷戦のはじまり

- ・共産圏の拡大と共産党勢力の躍進は、アメリカやイギリスなどの警戒感を強めた。
→世界は、アメリカを中心とする資本主義の西側と、ソ連を中心とする共産主義（社会主義）の東側という二つの世界に分裂していった。
※この対立を「冷たい戦争」、いわゆる（ ）という。

- ・1946年、イギリス前首相（ ）は、ソ連が「 」を
おろしていると演説し、ソ連への不信感を示した。

◆（ ）（民主党）（在任 1945～1953年）

- ・1947年、アメリカ大統領トルーマンは、ギリシアとトルコの共産化を防ぐため、（ ）を
発表して両国への援助を表明した。
- ・さらにマーシャル国務長官は、戦争で荒廃したヨーロッパ諸国を援助することで共
産圏の拡大を防ごうとし、ヨーロッパ経済復興援助計画（ ）
を発表した。

※この一連の外交政策を「 」という。

→ヨーロッパ諸国は、ヨーロッパ経済協力機構（OEEC）を結成してこれを受け入
れた。



演説するチャーチル

「バルト海のシュテッ
ティンから、アドリア海
のトリエステまで、鉄
のカーテンがおろされ
ている」と演説した。
冷戦の開始を象徴す
る言葉となった。



トルーマン大統領

ソ連に対して強硬策
を取り、冷戦の起点
となった。
妻とは彼が6歳の時
に出会っており、ト
ルーマンの一目惚
れだったらしい。



マーシャル国務長官

国務長官とは、日本
でいう外務大臣にあ
たる役職。マーシャ
ル=プランは、アメリ
カ史上屈指の成功を
おさめた外交政策と
評価されている。

- ・ソ連と東欧諸国はマーシャル=プランに対抗して、1947年に（ ）
（共産党情報局）を結成した。

※ただし1948年、独自外交をとった（ ）された。

→1949年には、経済協力機構として（ ）（東欧経済相互援助会議）
が結成され、経済的な結びつきも強めた。

- ・1948年2月、（ ）が発生し、共産党政権が誕生した。

→これに衝撃を受けたヨーロッパでは、イギリス・フランス・ベネルクス3国が、
（ ）（ブリュッセル条約）を締結した。



ユーゴスラヴィアのティトー

晩年の写真。若いころ
の凛々しい写真を見た
ければ、第172回のプ
リントを見よう。
圧倒的なカリスマ性
で、複雑なユーゴスラ
ヴィアをまとめあげた。



コメコンの切手

後に東ドイツで発売
された、コメコン発
足40周年を記念す
る切手。ソ連が経済
的にも他の共産主
義国を支配する構
図となった。



チェコスロヴァキアのポスター

クーデタ後のポスター。ス
ターリンが描かれ、後ろに
はソ連とチェコスロヴァキ
アの国旗が仲良くはため
いている。チェコスロヴァ
キアが東側についていたこ
とははっきりと示している。